

| | | | | | |
|----|-----|----|----|---------|------------|
| 教科 | 音楽科 | 学年 | 3年 | 標準授業時間数 | 35時間(週1時間) |
|----|-----|----|----|---------|------------|

| | | |
|--------|----------------|---|
| 目 標 | 教科目標 | <p>(1) 『学び合い』を軸にした活動展開を通じて、音楽することの喜びを体感し、音や音楽への興味関心を培う共に、音楽によって生活を彩り豊かなものにしようとする態度を育む。</p> <p>(2) 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。</p> <p>(3) 音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を育てる。</p> |
| | 具体目標 (到達目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で扱う内容について、学習目標を理解し、興味関心を持って取り組める。 ・ 基本的な演奏技能(ベーシック)を理解し、正しい発声法を身につけ、音楽の表現活動に活かすことができる。 ・ 演奏(歌唱・器楽演奏)に際して、アーテュキレーションを工夫し、内在する劇性を感じながら、曲想にあった表現を試みる。 ・ 日本の郷土芸能や雅楽・能の成り立ちを理解し、日本伝統音楽を慈しみ伝えていこうとする感性を身につける。 ・ 世界の諸民族の音楽並びに総合芸術の多様な世界に関心を持ち、その背景となる文化を理解し、作品を鑑賞しようとする。 |

| | | | | |
|-------------|---|--|-----|---|
| 評 価 点 | 観 | 音楽への関心・意欲・態度 | 25% | 音や音楽への興味・関心を持っている。 授業道具を忘れない。 |
| | 点 | 音楽的な感受や表現の工夫 | 25% | 音色、リズム、旋律、和声をもたらす揺れや劇的效果を感受しつつ、曲の構成を読み解き、曲想を活かした表現効果を工夫できる。 |
| | | 表現の技能 | 25% | 音楽の表現の諸相に対応できる基礎的な知識と表現技能を身につけ、創造的に表現できる。 |
| | 価 | 鑑賞の能力 | 25% | 音楽史の全体像を理解し、個々の音楽様式の背景となる文化・歴史などと関わらせて鑑賞できる。 |
| 材 料 | | 授業態度・忘れ物・実技テスト・鑑賞ノート・プリント・定期テスト | | |
| 方 法 | | 各評価材料を観点別に基準に従って評価する。 それぞれの結果を総合的に判断する。 | | |

| | | |
|------------------|------|--|
| 学 習 方 法 | 使用教材 | 教科書 中学生の音楽2-3下(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社) |
| | 学習形態 | 教室では、一斉授業の形で進める。 合唱並びに器楽などのアンサンブルでは、生徒相互の『学び合い』を主軸に据え、パート又はセクション毎の活動を展開する。 |
| | 進め方 | <p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既に習得した表現の技能を活かし、より高度な音楽作品に取り組む。 ・ 範奏・範唱にしっかり耳を傾け(鑑賞)、曲想や作品の劇性を充分に感受し(音楽の感受)、作者や音楽上の意図をしっかり踏まえた上で(分析)、豊かな表現を目指す。 ・ 表現技能の向上を目し、意欲的に取り組む気持ちを忘れず反復練習に勤しむ。 ・ 黒板に書かれたことはノートにまとめ、後の学習内容整理に役立てる。 ・ 鑑賞教材では自分の感じたことを表現しつつ、音楽的素養と知識の深化を図る。 <p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その日の学習内容をきちんと整理しておく。 ・ 歌唱教材は日常より歌詞を覚えるように心がけておく。 ・ 自らの愛好する音楽を、家庭でも聴く習慣を持ち、音楽感受の力と幅を日頃から養うようにする |

年間授業計画

| 月 | 学 習 の 内 容 | 時数 | 学 習 の ポ イ ン ト |
|---------|--|----|--|
| 4 | *日本の歌 花・早春賦・花の街 | 3 | ・日本の情景や日本人の心情に結びついている日本の歌を味わい愛好できる。 |
| | *世界の愛唱歌 Hey Jude | 2 | ・世界に知られているいろいろな歌の良さを感じとり、多様な音楽に親しむ。 |
| 5 | *身近な名曲を味わおう 合唱の名曲 鍵盤楽器 (ピアノ) の名曲 音楽史 1 | 4 | ・合唱の響きのすばらしさを感じ取り、積極的に合唱に親しむ。 ・鍵盤楽器の特徴や音色の違いを感じ取る。 ・古代ギリシャ時代からバロック、古典派まで音楽様式を理解する。 |
| 6 | アルトリコーダー練習曲 | 2 | ・アルトリコーダーの基本的・応用的な技術を使い、練習曲に親しむ。 |
| | *世界の愛唱歌 帰れソレントへ | 2 | ・アーティキュレーションに工夫を凝らし、曲想にふさわしい表現を試みる。 |
| 7 | *総合芸術を味わおう オペラとミュージカル バレエの名曲 音楽史 2 | 3 | ・総合芸術<オペラ><バレエ>に考察を巡らし、それぞれの名曲鑑賞を通して舞台の雰囲気味わう。 ・前期ロマン派の音楽様式に親しむ。 |
| 9 | *合唱の喜び 大地讃頌 各クラスの自由曲 | 4 | ・混声4部合唱を通して、合唱の響きのすばらしさを感じ、積極的に合唱に親しむ。 |
| 10 | *イメージと音楽 交響詩『ブルタバ』 音楽史 3 | 3 | ・情景を思い浮かべながら交響詩の響きを味わうことができる。 ・後期ロマン派とそれを取り巻く国民楽派の関ざりから近代音楽までの音楽様式に親しむ。また、現代の音楽の諸相に触れる。 |
| 11 | *日本の伝統音楽と芸能 雅楽 能 郷土の芸能 | 3 | ・地域の芸能に関心を持つ。 ・能・文楽・歌舞伎を通して日本の伝統芸能に関心を持つ。 |
| 12 | *世界の諸民族の音楽 | 4 | ・世界の諸民族の音楽に親しむ。 |
| 1 | *いろいろな音楽 室内楽の名曲 協奏曲 オーケストラ | 2 | ・室内楽・協奏曲・管弦楽(オーケストラ)の代表的作品を鑑賞し、それぞれの形式の持つ音楽的特性を理解する。 |
| 2 | *合唱の喜び 卒業合唱曲 (「上げばとうとし」他) | 2 | ・卒業式に向けて感謝の気持ちを込めて歌う。 |
| 3 | 国歌・校歌 | 1 | |
| 合 計 時 数 | | 35 | |